

カッコソウを ご存知ですか



後世にカッコソウを 残したい



齋藤 伸江さん
(川内町五丁目)

研究用だったカッコソウを譲ってもらい10年程前から庭で育てています。最初は5株ほどでしたが、今ではその5倍に増えました。

カッコソウは環境の変化に弱く、日陰の具合や湿度によっても育たなくなってしまいます。また、夏場、雑草などが周りに生えたとカッコソウが負けてしまうので、夏の草取りは一苦労です。

カッコソウは、この地域にしか存在しない地域の宝ですので、これからも絶やさないように大切に育てていきたいと思えます。

カッコソウは、サクラソウの仲間で、世界で鳴神山(桐生市およびみどり市)周辺だけに生育する大変希少な植物です。
春のこの時期に、ピンク色のかわいらしい花を咲かせます。かつては、普通に見られ

た植物ですが、現在では、山でその姿を見かけることはまれになってしまいました。
絶滅のおそれがあります
平成24年5月に絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律(通称:種の

保存法)により国内希少野生動物植物種に指定されたことから、無許可でのカッコソウの採取・売買・譲渡(売る・あげる・貸す/買う・貰う・借りる)が禁止されています。
しかし、以前からお持ちのカッコソウを庭などで育てることは、違法ではありません。桐生の宝でもあるカッコソウをこれからも大切に育ててください。
家庭で育てている人はご連絡を
ご家庭で育てているカッコソウがすでに鳴神山では失われてしまった遺伝子を持つている可能性があります。
庭などで育てているカッコソウを親株とするなどの保全活動にご協力いただける人は、ぜひ、ご連絡ください。
問い合わせ 自然観察の森 (☎656901)

家庭で育てている人は
ご連絡を

今月の表紙

4月10日(水)、毎年恒例の「園児による鯉のぼり掲揚の集い」が行われました。この日は雪も混じる冷たい雨が降っていましたが、市民文化会館のアトリウムでは、手作りの鯉のぼりの下で、園児たちが元気のいい歌声を響かせていました。

人口と世帯

(3月31日現在)

人口	111,295人 (-367人)
男	53,589人 (-186人)
女	57,706人 (-181人)
世帯	49,784世帯 (-29世帯)

()内は前月比

納税のお知らせ

固定資産税・都市計画税…第1期
軽自動車税

5月31日(金)が納期限です

コンビニエンスストアや銀行などのペイジー対応ATMからも納付可能です。口座振替を利用している人は、預貯金残高のご確認をお願いします。

広告